

## マナー講座からの学び、そして職場体験学習で学ぶ「働くこと」

2年生が11月29日から3日間行う予定の職場体験学習を前にして、11月6日にビジネスマナーを学ぶ講座を町内企業の担当者をお迎えして実施しました。私も子どもたちと一緒に参加しましたが、この講座のなかで教えていただいた内容は、一般社会常識として私たち大人も身に付けておかなければならないことであり、子どもたちにとっては、生涯にわたって明るく豊かに生きていくための社会人基礎力の育成につながる貴重な学びとなるものでした。



まず講師の先生から「マナーとルールの違いとは？」という問題提起があり、思いつくままに考えてみました。結論として「相手を思いやる時に出てくる行為」がマナーであり、「ルールも大事だが、マナーはもっと大事」なことや、マナーのなかでも重要となるあいさつ、態度、身だしなみ、言葉遣いについて具体的に教わりました。

あいさつ : 明るい笑顔で、いつでも誰にでも、自分から先に、続きのあるあいさつ。  
 態度 : 目に入る言葉として、明るい印象を与えるために、視線・心・笑顔・手・言葉の5つの動作を添える。  
 身だしなみ : まずは7(目・口・耳・首・胸・手・足)元のチェックから。  
 言葉遣い : 目・口・手・背・心で書くことを意識した感じの良い会話。心遣いが表れる。

そして29日から始まった職場体験学習。全ての活動は参観できませんでしたが、生き生きとした子どもたちの表情を見ることができました。青果所でミカンの仕分け作業をしていた子、こども園で園児と外で元気に遊んでいた子、図書館で慣れた手つきで返却作業をしていた子、調理場で卵の殻をむいていた子、老人ホームでお年寄りに鶴を折っていた子、食品センターでお惣菜を並べていた子、ミカン畑で収穫に励んでいた子、入り口の掃除を一生懸命に頑張っていた子など、どの子どもの顔も輝いており、学校生活とは違う表情でした。マナー講座や自分から職場に電話をかけさせる、そして事前訪問など、事前に入念な学習があつてこそその職場体験です。周りは大人であるという環境の変化に戸惑う子どももいましたが、大人との関係作りは良い経験になったことでしょう。また、一日の立ち仕事がどれほど疲れるか、お金を稼ぐことの大変さ、そして働いてくれている家族への感謝の気持ちも感じられたことでしょう。その感じたことをこれからの生活にしっかりと生かしてください。



### 確かな学力

11/9・10に、全日本中学校国語教育研究協議会香川大会が、三観地区で開催されました。二日目の三豊会場(高瀬中学校)で、〇〇先生が「徒然草」の公開授業を行いました。前任の〇〇校長先生も運営側でご尽力されていましたが、授業者の〇〇先生は昨年度から研究を重ねてきた成果を、全国からの参加者を前にしっかりと披露することができました。2年2組の子どもたちもよく頑張ったと褒めていただきました。



### 豊かな心

11/5(日)の朝8時からPTA親子環境美化活動がありました。休日の朝早くから参加してくれた皆さん、ありがとうございました。運動場の南半分の除草作業を行いました。最終的にゴミ袋20袋分ぐらいの草を除草することができ、運動場がずんぶんと綺麗になりました。みんなですること、大きな力になることを改めて感じることができました。

